

はぐはぐキッズ西大井 活動報告（1年を通して）

★活動内容

- ・保育者が「これは青」と色の名前を知らせたり「これは何色？」と問いかける。
- ・同じ色を集める・色水を器に移し替えながら色に変化するなかで、色を意識したり、色の変化を発見する。
- ・制作では複数色の素材を用意し、好きな色を選んでもらう。

・カラーボールでは、保育者が「これは、青」「赤」など色の名前を知らせると、「あお～」などオウム返しで言ったり、気に入った色の名を言う児がいた。また、「これは？」と手に持ったボールを保育者に見せて尋ねる児もいたり、「あ～か」と色名を言いながら袋に集める児がいる。

→展開： 袋や箱などに「緑色のボールを持って来て」と保育者が色を指定して集めることをしてみた。上記のように保育者に聞きながら集める児もいれば、色は関係なく「みろ（ど）り～」と言いながらボールを集める児もいる。

・風船遊びでは、お気に入りの色の風船を持ち歩く児がいる。「〇〇くんの風船は、青色だね」など、保育者が風船の色を言いながら遊ぶことで児も「〇〇くんの、あお！」など言っていた。

・色水遊びでは、青・赤・黄色などの色水を用意し、児は好きな色水をスプーンですくって器に移し替えて遊んだ。保育者が「色が変わったね」など、混ぜり合って色に変化した様子を意識できるよう声掛けをし、児も「(色が) 変わった!」「(保育者が色を言うと) 紫になった!」など発見をしていた。

→展開： 机上遊びの次は、ビニールプールの中での水遊びに色水を用いる。色水の量も増やすことで、思いきり水に移し替えたり、混ぜ合わせたりを楽しんだ。

・保育者は児が同じ色を集めたり、繰り返し使っている時に、「黄色だね。〇〇ちゃん、黄色たくさん持っているね。」「黄色、きれいだね」など、色名を言いながら声掛けをしていく。児は、オウム返ししたり、うなづいて同意してみたり、「もーっと、集める!」と張り切ったりしながら、遊びを楽しんだ。

